

第3章

計画の目指す方向性

1. 望ましい環境像
2. 計画の基本目標

1 望ましい環境像

望ましい環境像は、10年後、20年後、小樽市の環境をどのようにしていくかを描く、中長期的な視点でとらえた目標となるものです。

本市の総合計画や環境基本条例、市民アンケートの意見などを踏まえ設定します。

(1) 第6次小樽市総合計画の方向性

- 基本構想に掲げた将来都市像
 - ⇒ 「歴史と文化が息づく 健康、にぎわい、協働のまち」
- 環境分野のまちづくりテーマ
 - ⇒ 「自然とまちなみが調和し、環境にやさしいまち（環境保全）」

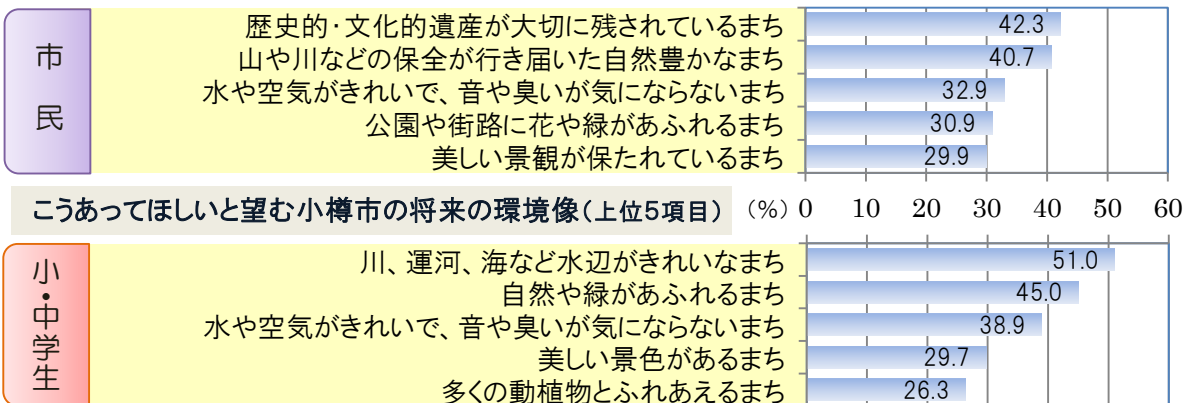
(2) 小樽市環境基本条例の方向性

- 基本理念
 - ① ⇒ 「良好な環境を確保し将来の世代へ継承していく」
 - ② ⇒ 「環境への負荷の少ない持続的発展可能な社会を構築する」
 - ③ ⇒ 「市民、事業者、市が相互に協力・連携する」
 - ④ ⇒ 「地球環境保全に自主的かつ積極的に取り組む」

(3) 市民アンケートの意見

アンケートでは、市民と小・中学生が望む小樽市の将来の環境像で上位を占める項目は下のグラフのとおりで、そこから抽出される主なキーワードは次のようになります。

- キーワード
 - ⇒ 「歴史・文化」「自然」「公園・緑・水辺」「景観」「豊か」「きれい」「美しい」



(4) 小樽市の望ましい環境像

市の考え方や方向性に市民からの意見も踏まえながら、小樽市がこれから目指していく望ましい環境像を次のように定めます。

望ましい環境像

豊かな自然に包まれ 歴史と文化が息づく 快適空間 …
ともに守り 未来へつなぐ 環境にやさしいまち 小樽

豊かな自然に包まれ

山、川、海が身近にあり、多くの動植物ともふれあえる豊かな自然環境に恵まれていることを表しています。

歴史と文化が息づく

歴史的建造物や文化財などが、小樽らしさをいかして保全・活用されていることを表しています。

快適空間 …

公害防止や環境美化により街中がきれいで、公園・緑地や水辺には潤いがあり、美しく魅力あるまちなみは安らぎを与えてくれるような、住み心地のよい快適な都市空間のことを表しています。

ともに守り

かけがえのない環境を、市民、事業者及び市が協働で保全に取り組むことを表しています。

未来へつなぐ

将来の世代へ継承していくことを表しています。

環境にやさしいまち

人と自然とが共生できるよう、地域から地球規模の問題にまで配慮した取組を行い、環境への負荷が少ない持続的発展可能な社会を目指すまちのことを表しています。

第6次小樽市総合計画

「歴史と文化が息づく
健康、にぎわい、協働のまち」
「自然とまちなみが調和」
「環境にやさしいまち」

小樽市環境基本条例

「将来の世代へ継承」
「持続的発展可能な社会を構築」
「市民、事業者、市が協力・連携」
「地球環境保全に取り組む」

市民アンケート

「歴史・文化」「自然」
「公園・緑・水辺」「景観」
「豊か」「きれい」「美しい」

2 計画の基本目標

本市が目指す将来の環境像の実現に向けて、環境分野ごとに、次の6つの基本目標を設定します。

豊かな自然に包まれ 歴史と文化が息づく 快適空間 …
ともに守り 未来へつなぐ 環境にやさしいまち 小樽

自然環境

自然と共生するまちづくり

豊かな自然とそこに生息する野生動植物を守り、人と自然とがふれあいながら共生することができるまちづくりを目標とします。

生活環境

安全で安心して暮らせるまちづくり

きれいな水とさわやかな空気のもと、健康で安心して暮らせるまちづくりを目標とします。

廃棄物・資源循環

資源を大切に作るまちづくり

ごみを減らし資源をいかす循環型社会を目指すまちづくりを目標とします。

社会環境

潤いと安らぎのあるまちづくり

歴史、文化、自然をいかし、調和の取れた潤いと安らぎのある心地よい空間に満ちたまちづくりを目標とします。

地球環境

地球環境を思いやるまちづくり

地球環境に配慮した温暖化の取組を行い、低炭素社会を目指すまちづくりを目標とします。

環境学習・環境活動

みんなで環境保全に取り組むまちづくり

市民、事業者、市が環境保全についてともに考え、協働で取り組んでいくまちづくりを目標とします。